

平成30年度 行政評価シート

施設名	旭川市立新旭川保育所	所在地	旭川市大雪通7丁目		
担当部局	子育て支援部こども育成課	電話番号	23-5409	内線	

1 施設の概要

設置目的	乳児及び幼児の健全なる育成と、勤労者の福祉を図るため。				
設置根拠	旭川市保育所条例				
設置年月日	昭和30年6月8日	増改築	昭和56年12月 平成19年3月 平成24年3月		
建設費(単位:千円)	(新築時)	不明	(増改築時)	4,196 (平成24年)	
規模・構造等	敷地面積 2121.063 m <sup>2</sup> 建築面積 670.114 m <sup>2</sup> 延べ床面積 847.662 m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート一部2階建 保育室・調理室・遊戯室・調理室・風除室・その他				
利用対象者	保育を必要とする0歳から小学校就学前までの児童及び保護者				
事業内容	・保育所の管理運営, 延長保育, 特別支援保育, 病後児保育				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営	(平成30年度の職員体制) 正職員 9人, 臨時職員 14人, 嘱託職員 4人			
	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部業務委託)	(委託内容) 機械警備業務, 床面清掃業務, 生ゴミ処分業務, 産業廃棄物処分業務			
料金制度	<input type="checkbox"/> 使用料 <input checked="" type="checkbox"/> その他(市が定める保育料による)				
減免制度	【旭川市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担に関する条例第3条第3項】 ・災害, 病気等により特に多額のやむを得ない臨時的支出があったときその他特別の事情があると認めるとき				
類似施設 (民間の施設を含む)	認可保育所				
類似施設との違い	なし				

2 管理運営の状況

(1)管理経費

(単位:千円)

年度		H27年度 (決算)	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (予算)	備考
内訳	人件費	98,135	98,441	98,066	109,953	
	正職員	58,328	57,080	57,576	65,889	
	臨時・嘱託職員	39,807	41,361	40,490	44,064	
需用費	燃料費	486	571	666	561	
	光熱水費	2,156	2,063	2,013	1,901	
	修繕料	254	169	209	170	
	賄材料費	8,389	8,559	8,330	9,344	
	その他	1,088	1,090	1,127	990	旅費・消印・医薬品・延長保育 賄材料費
委託料	673	766	867	693		
使用料・賃借料	70	67	73	90		
備品購入費	0	57	0	0		
その他	727	634	675	988	負担金・手数料・通信・原材料	
合計(A)		111,978	112,417	112,026	124,690	
収入	使用料	13,282	13,675	12,882	14,258	保育料・延長保育料
	病後児保育料	134	119	98	140	
	その他	1,309	1,402	1,365	1,433	職員給食費・実習生給食費・日本 スポーツ振興センター負担金
	合計(B)	14,725	15,196	14,345	15,831	
差引(合計(A)-合計(B))		97,253	97,221	97,681	108,859	

※人件費(正職員分)は, 1人当たり平成27年度7, 291千円, 平成28年度7, 135千円, 平成29年度7, 197千円, 平成30年度7, 321千円で計算すること。

## (2) 利用状況

内訳	年度	H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (見込み)	備考
総利用件数(単位:人)		1,113	1,094	1,084	1,013	数値の算出は、月初日人数×12月とする。
	うち免除利用分					
	うち減額利用分					
各室 利用率 (単位:%)						
<b>【参考値】</b> 利用者一人当たりの 市費投入額(千円) (管理経費÷総利用件数)		87	89	90	107	

## (3) 市民ニーズの把握

把握 方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査(実施時期, 提出件数等)	
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置(設置数, 提出件数等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の方法(実施時期, 方法等)	父母と職員の会総会及び役員会, 懇談会, 試食会, 保育参観, その他送迎時に相談・意見等を受け付けている。
主な 意見 と 対応 状況	主な意見	対応状況
	体幹が弱い・体力を付けたい	歩育をすすめ, 継続中。
	先天性骨形成不全の児童の入所希望	環境(人的・物的)に配慮し対応した。
	医療的ケア児受け入れ	所内研修等で知識を深め体制を整えてニーズに対応している。

## (4) サービス向上, 利用者増に向けた取組, 業務改善, 経費削減などの取組(業務委託は次項に記載)

	取組内容	実績・成果
取組 内容 と 実績 成果	園開放事業	未就園児が保育体験をすることで, 就園の不安解消に役立っている。また, 育児相談にも対応している。
	延長保育事業	就労形態等に合わせ時間延長ができるため利用者も多く利便性が高い。
	特別支援事業	個別の支援計画に基づき, 個別の配慮・個別指導を実施し有効である。
	妊婦とパートナー保育体験	乳児の食事・ミルク介助等を体験できる貴重な機会であり好評である。また, 出産や育児相談にも応じている
	病後児保育事業	仕事を休めないときにも安心して子どもを預けることができる。
	絵本貸出	貸出数も多く好評である。(週1回貸出 H28 1,187冊 H29 872冊)
今後の予定	待機児童の状況や保育ニーズを踏まえながら, 子育て支援に取り組む。 園開放や保育体験等における相談に随時対応している。今後も相談体制の充実を図るとともに, 保育士の専門性を活かした取組を継続していく。	

## (5) 業務委託の実績と予定

	年度	内容
業務委託の実績	S57	機械警備業務
	H29	床面清掃業務(単年度)
	不明	生ゴミ処分業務・産業廃棄物処理業務
今後の予定	なし	

(6) 指定管理者制度の導入について

指定管理者の担い手	<input type="checkbox"/> 担い手になりうる団体がある			
	↳ <input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市内にはないが市外にはある			
	<input type="checkbox"/> 現時点では、担い手になりうる団体がない			
	説明	担い手になりうるかどうか、団体に打診していないため、不明。		
メリットの比較	サービス向上	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 同程度	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入 <input checked="" type="checkbox"/> 不明
	コスト削減	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 同程度	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入 <input checked="" type="checkbox"/> 不明
	説明	導入について検討していないため、不明。		
他市の導入状況	中核市54市のうち、導入状況調査(H30.6 船橋市照会)への回答市42市中6市で指定管理者制度を導入している。			

3 施設の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の老朽化による緊急を要する修繕の頻度が高くなっていることから、計画的な改修、設備更新が必要である。</li> <li>・就学前児童数は減少傾向にあるが、特別支援保育・乳児保育は需要が高い。</li> </ul>
---

4 公共施設等総合管理計画(施設再編計画)における評価

Dソフト事業等への転換	将来的に市が保有しない施設で、民間事業者(地域住民含む)によるサービス提供や当該公共建築物によらない手法により対応可能なもの。
-------------	---

5 評価

(1) 1次評価(所管部局)

活動量と成果	説明 ※活動量とは、利用件数や利用率、事業の実施件数など
<input type="checkbox"/> 高い	待機児解消として、定員を超えて入所させている。 ・保育所入所率(定員90人) H27年度103%, H28年度104%, H29年度102% ・保育士不足解消に伴う保育士再就職支援研修(H29年度2回実施)及び子育て支援員研修(H29年度2回実施)における現場実習、座学講師の対応を行っている。 ・保育・看護実習生等の積極的な受入(H29実績55日 延177人) ・全市的な支援体制の構築:市内保育所・こども園等に対する情報の発信・共有を図るため、公開保育の実施、研修会の開催を行っている。(公開保育は年1回1保育所・研修会開催は3保育所合同)
<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	
<input type="checkbox"/> 予定どおり	
<input type="checkbox"/> やや低い	
<input type="checkbox"/> 低い	
運営の効率性	説明
<input type="checkbox"/> 高い	・国から、人員、設備及び運営に関する基準が示されており、この基準に基づく設備、人員を配置し運営している。 ・経験豊かな保育士を有効活用しており、認可外保育施設の立入調査に同行し保育士専門性を発揮している。 ・管理・保育事務に係る効率化及び保育士の負担軽減を図るため、業務の見直し等の検討を進めている。
<input type="checkbox"/> やや高い	
<input checked="" type="checkbox"/> 標準	
<input type="checkbox"/> やや低い	
<input type="checkbox"/> 低い	
評価及び見直しの内容	
入所率は100%を超えており、待機児童解消のほか、実習生の受入、現場実習、座学講師の対応など、市立保育所として一定の役割を果たしてきた。今後は、市立保育所としての役割を改めて整理した上で、在り方について検討していく。	

(2) 外部評価(行財政改革推進委員会の意見)

評価及び見直しの内容
保育所の施設整備などが進んだ結果、年度当初での待機児童は解消されているが、今後の少子化及び幼児教育の無償化の影響を見極めた上で、保育ニーズをしっかりと把握していく必要がある。 また、民間に比べて人件費が高く、多額の赤字を出しているほか、民間との違いも不明確であることから、民間では担えない分野を担うという市立保育所の本来の役割や機能について、改めて整理した上で見直しを図ること。

(3) 2次評価(行政評価検討会議)

評価及び見直しの内容
今後の少子化及び幼児教育の無償化の影響を見極め、まずは保育ニーズをしっかりと把握する必要がある。 その上で、保育に関する課題解決のため、行政機関として、先導的、先駆的な役割や機能を発揮する必要があるが、ハードとしての施設は集約や民間委譲等について検討を進めること。